



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニユース

みどりと清流

第132号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

2013年

4月発行

しん ぶん 赤旗

日刊紙1ヶ月 3400円

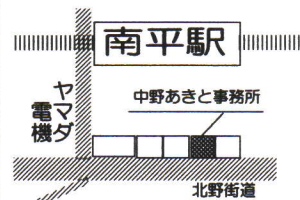
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



無所属・中谷よしゆき (好幸)

「みんなでつくる日野!」推薦

1949年三重県生まれ。金沢大学卒。測量会社勤務。86年日野市議初当選。市議6期。市議会副議長。日本共産党市議団長。家族は妻、一男二女。



中谷さんの本会議での質問はいつも圧巻で市議会でのハイライト。質問は鋭いが温厚な人柄は立場が違う与党議員や市役所の幹部職員の信任も厚い。辞職を聞いて「辞めないで」という声が与党議員からも掛けられた。

日本共産党・かわぞえ務 (つとむ)

党日野 環境とまちづくり相談室長

1950年福岡県生まれ。神奈川県立相原高校卒。食品会社勤務。「市議会を見よう日野市民の会」事務局。柔道2段。



家族、妻と子ども家族。住民運動と言えば「かわぞえ」さんと言われるほど市内の多くの運動に関わってきた。百草山に巨大墓地をつくらせない運動。百草園駅のバリアフリー化。里山の下草刈りや援農ボランティア。太陽光発電など自然エネルギーの研究なども。

候補者擁立から展望まで

市長選挙・市議補選について中野あきと市議に聞く

■いろいろな新しい「共同」を追求しているということでしたが、最終的に中谷好幸市議団長擁立となったのは。

馬場市長が昨年12月、突然退任を表明した背景には、市政全体にただよう閉塞感や行き詰まりがあります。とくにこの4年間は、市長を応援してきた方々や与党議員の中からも批判の声があがっていました。私たちはこの市政の状況を打開するには、そうした方々も含めて幅広い共同で実現する必要があると考え努力を重ねてきました。そうした中で市民の方々から、今の市政を変えるには最適・最強の候補者でなければならぬ。「ぜひ、中谷好幸市議団長を」と強く求められました。

しかし、中谷さんは、日本共産党市議団の団長であり日野の党組織の大黒柱でもあります。党内でも市議団でも真剣な議論がありました。中谷さんは最適で最強の候補であるという認識は一致し、無所属の候補とすることを決断しました。

■市長選挙では、これまでの市政のあり方が問われるわけですが、馬場市政についてどう感じていますか。

いま、市民の間には生活不安が広がり、若い人も高齢者も障がいのある方も、人間としての尊厳が奪われるようになっていきます。こんなときこそ市政は、生活を守る防波堤の役割を果たさなければなりません。しかし馬場市長は、「財政再建」の名で福祉を切り縮め、施策を後退させてきました。

馬場市長は「市民参画」を掲げていますが、今度のごみ問題が象徴するように、市民に囚われることなくトップダウンの市政運営を行っています。「市政に経営感覚を」といい、森田革新市政が市民とともに築きあげてきた全国に誇る施策を次々に切り捨て、4期16年の馬場市政は行き詰まり状況にあります。(裏面へ)

短信

杉並の母さんたちが「子どもを保育園に入れて」と声をあげ、その波紋が広がっている。それは「原発ゼロ」を求める運動とも共通する。政治に解決を求めようにもならないならば人々は立ち上がる▼傍観から政治を動かす民主主義へ。新しい流れがこの国にも芽生え、私たちの街にも起きている。高層マンションの建設をめぐって。生コン工場の被害をめぐって。そして、ゴミの3市共同処理をめぐって。こんな運動の中から政治を志す人が出てほしい▼

なんでこの人はこんなにバイタリティーに溢れているのか。幾つもの住民運動をまとめ、緑地保全など環境問題にも関わる。その人は川添(かわぞえ)務さんという▼今度、市議補選への立候補を打診され、彼は悩んだ末に決意した。63才。若くはない。第二の人生を考える齢でもある。市議会を傍聴し、発言もしないのに住民の思いがこもった請願を不採択にする議員がいる。こんな議会を正したい。それが踏ん切りの理由となった▼喘息の息子さんを気遣い百草の里山に移り住んだがその息子さんを亡くした。環境保全へ傾注する原点はそこにある。こんな人が市政に欲しい。(K)

(一面より続く)

■今度の市長選挙で問われている問題は、

いま、日野の街には幾つもの難しい問題が起きています。日野自動車の撤退や丘陵地を抱えた大地震への備え。本人や家族に重い負担がかかる高齢者の医療や介護の問題。雇用の悪化で働き盛りの半数近くは非正規雇用で生活設計もできないことや、働きたいのに保育所に子どもを入れられないことなど、どの問題も市政の重要な課題です。

そしていま、小金井市、国分寺市のごみも受け入れ、三市で共同処理をするということが市政の大問題になっています。

■ごみの三市共同処理ですが、よく分からないという声があります。

周辺地域から離れているからよく分からないという声を聞きます。馬場市長は市民に知らせないばかりか議会にも図らず事を進めてしまいました。

これまで日野市は、「ごみゼロをめざす」といって有料化し、市民には減量と呼びかけてきました。市民は三多摩一高いごみ袋代を我慢し努力してきた結果、ごみの量は半分になったのです。だから建て替える焼却炉も環境負担の少ない小型のもので間に合うようになりました。

「高いごみ袋を負担して減量に努力してきたのになんだ」

「脱焼却、ごみゼロはどうした」という声が上がっているのも当然ではないでしょうか。

周辺の方々は焼却炉だけではありません。クリーンセンター近くには下水処理施設もあります。下水が普及しない頃は、糞尿が溢れたこともあったそうです。それもこれも日野市に必要な施設だからといって受け入れてきました。耐用年数の関係で焼却炉の建て替えが必要になっていますが、小さい炉だったとらと理解されてきました。しかし、他市の分までとなると地域の将来に関わる問題だとして大多数の方が反対しているのです。

「両方の市から大きなお金が入るから」、「温浴施設もつくれる」などと戸別訪問で強調していますが、地元の方々は「お金などいらぬ」「きれいな空気がほしい」と言っています。これは本当に卑劣なやり方です。札束で頬を叩く「原発マネー」と同じではないでしょうか。

「98%が反対しているのに強行するのか」という声が上がっていますが、今の市政のあり方の根本をついた意見です。「合意を得る」ということは、行政として最低限守らなければいけないことです。

私たちは馬場市長に対して、早く無茶な計画を撤回するよう求めてきました。3月市議会の私たちの追及で市は、

覚書は新しい市長を拘束するものではないかのような答弁をしました。でもありません。「覚書」は法的拘束力を持つものです。

私たちは市長が、ここまでやるとは思いませんでした。後継者を指名し引き継がせると言うのですから、これはもう選挙の大争点にしなければなりません。「保守だ、革新だ」という枠を超えた、市民の声で市政を進めるということも問われている問題です。

■「共産党議員なんだよね」という声があります。「どうせ勝てない」「市政が偏る」という意見も聞かれますが。

政治が変わるときは、それなりの状況があるときです。古くは美濃部革新都政の時もそうでした。高度成長で公害が蔓延し、都庁も汚職腐敗に満ちていました。「東京に青空を」のスローガンは多くの都民の心をとらえ美濃部都政が誕生しました。今度のごみ問題の経過や問題点を知れば、多くの方は今の市政のあり方に疑問を持ち、新しい市政の必要を感じて頂けると思えます。それが従来の枠を超えた市政を変える大きな力になると確信します。

共産党員の首長は、伊豆大島の現町長もそうです。身近には、狛江市の矢野市政がありました。前の市長が賭博に関わり使い込みをやり、ぜひ、立候補をと乞われた矢野裕さんは、市議の

職を辞し名乗りを上げ当選しました。そんな問題があったから、と思われるかも知れませんが、矢野市政は一期では終わらせませんでした。市民の声に耳に傾け要求の実現に努力し、四期十六年間続いたのです。

■市議補選に立つ「かわぞえ務」さんの紹介を。

詳しくはぜひ、お配りするビラやリーフレットをご覧ください。「住民運動と言えばかわぞえさん」と言われるくらい、多くの運動に関わってきた人です。決して雄弁でもなければ若くありません。

私たちは、「ふれあいホール」建設反対の中心メンバーとして活躍し、その後「市議会をウオッチングする会」を立ち上げたことにも注目しました。こんな人こそ市政に送りたいと思ったのです。ぜひ、ご支援をお願い致します。



市長選・市議補選は
4月7日 告示
4月14日 投票

《2013年 5月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
5月9日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。